

<別紙> 委員の主な意見

港湾運営

- 【委員】・地方港湾でも規制緩和して取り組む必要がある。
- 【委員】・船社は荷物があるかで判断。
 - ・新しいターミナルオペレーター必要。

航路・集荷

- 【委員】・中国航路再開が大事。航路がないと集荷できない。
- 【委員】・中小企業情報を持つ金融機関を活用した集荷ビジネスを行ってはどうか。
- 【委員】・コンテナ貨物は重要だが、スーパー中樞港湾には勝てない。舞鶴港は、もっと在来貨物を扱うべき。
 - ・背後地の既存産業を大事にすべき。
 - ・リサイクルポートとしてリサイクル処理できる施設立地が必要。
- 【委員】・京都市の貨物を舞鶴港に集めるには京都市の協力必要。
 - ・これからは「ポートセールス」から「ポートビジネス」という発想に立った考え方が重要。
 - ・国内外の荷主の開拓。広域的なビジネス展開が重要。
 - ・企業誘致の際にどの場所に何の職種の企業を集めるか検討が必要。
 - ・豊岡市、福知山市、綾部市、舞鶴市が時々協議を行うことが必要。
- 【委員】・特徴ある貨物を扱う。中国航路の再開が重要、ロシア航路も視野に入れて取り組むべき。
- 【委員】・荷物を集めて舞鶴港の活性化を図ってもらいたい。

外貿フェリー

- 【委員】・大阪港等から荷物をシフトするにはアドバンテージが必要。
 - ・国際フェリーは地元のバックアップが必要。
- 【委員】・司令塔はどこがよいか、民間主体とすべき。
- 【委員】・外貿フェリーの誘致は、民間主導であるが、行政の力が重要。

にぎわいづくり

- 【委員】・中国、韓国、ロシアの小中学生を人流交流として呼び込む。
- 【委員】・貿易に限った意見が多い、観光・海に親しむという観点でも検討が必要。
- 【委員】・観光を中心とした舞鶴 - 釜山フェリーの誘致活動を実施すべき。
 - ・誘致活動には司令塔が必要。
 - ・観光は天橋立など府北部も入れ、大阪・京都は韓国から見ても魅力的なのでバックにする必要あり。
- 【委員】・アンケートの活用により舞鶴の良さを生かした観光ルート設定が必要。

その他

- 【委員】・今後は、ソフト振興が一番大事だが、今後のハードの検討にあたっては国としても連携して臨んでいきたい。